

# 算数科 小学校 6年

## 単元の流れ（全10時間）

【第1次】  
◇第1・2時  
**主な学習内容**

縮図と拡大図を観察し、性質をまとめる。

### 「活用」の力育成のために

児童の興味を引く身近な教材を使う。  
(ポイント②)

【第2次】  
◇第3～7時（本時 第4時）  
**主な学習内容**

縮図や拡大図をかく。

### 「活用」の力育成のために

児童に拡大図や縮図をかかせ、読ませる。  
(ポイント①③④)

【第3次】  
◇第8・9時  
**主な学習内容**

縮図を活用して長さなどを測る。

### 「活用」の力育成のために

児童に日常生活の中で縮図を活用させる。  
(ポイント①②③)

【第4次】  
◇第10時  
**主な学習内容**

評価テストをする。

HOME

本時の流れへ

評価問題

単元名 「図形の拡大と縮小」  
啓林館「わくわく算数6上」

### 単元目標

○簡単な縮図や拡大図をよんだり、かいたりする。

### 単元構成の意図

5学年では合同について指導し、その観点から図形を考察している。その学習を基に、本単元では縮図や拡大図を指導して、相似の意味の基礎となる経験を豊かにし、それらを目的に応じて適切にかいたり読んだりできるようにすることをねらいとしている。実際に縮図や拡大図をかき、その手順を説明させる学習活動を通して、縮図や拡大図の意味や特徴の理解を一層深めさせる。また、日常生活場面の中で縮図や拡大図が活用されていることに着目させ、進んで活用しようとする態度を育てる。

### 「活用」の力を育てるポイント

- ①縮図や拡大図を実際にかかせ、その手順を説明させることにより、縮図や拡大図の意味や特徴について、考えを深めさせる。
- ②身近な生活の中で、縮図や拡大図が活用されていることに着目させ、実際の場面で活用を図ることで、既習事項や既習内容を適切に活用できる力を付けさせる。
- ③根拠を明らかにして、説明する力を育てるために、自分の考えや解決方法などについて、ペア学習やグループ協議を設定する。
- ④作図などは個人差が著しいと考えられるので、学習状況をとらえ個に応じた指導により、考える時間を確保する。